

2025年1月30日
米国経済

りそなホールディングス 市場企画部
ストラテジスト 武居 大暉

日米欧 Market View: 1月 FOMC

FF金利の誘導目標レンジを 4.25%－4.50%に据え置くことを決定

要約

- 1/29(米国時間)に、FRB は政策金利である FF 金利の誘導目標レンジを 4.25%－4.50%に据え置くことを満場一致で決定した。声明文は、FRB は、労働市場の軟化が一服した一方で、インフレ率は高止まりしているとの認識を持っていることを窺わせる内容となっており、ややタカ派な印象を受けた
- 市場は年内の利下げ回数を 2 回程度と織り込んでいる。一時期は、トランプ大統領の関税政策への不透明感等から、1.3 回ほどまで減少していたが、現在は関税はディールに使われるとの認識が広がりつつあることが背景とみられる

1月 FOMC:FF金利の誘導目標レンジを 4.25%－4.50%に据え置くことを決定

1/29(米国時間)に、FRB は政策金利である FF 金利の誘導目標レンジを 4.25%－4.50%に据え置くことを満場一致で決定した。

声明文では、労働市場について、「失業率はここ数か月低位で安定しており、労働市場は堅調である」とされ、前回の「年初以降、労働市場は軟化傾向で失業率も上昇しているものの、依然として低水準である」から、労働市場の堅調さに自信を深めたことが示唆される内容へと変更された。また物価動向について、「インフレ率は依然としてやや高止まりしている」とされ、前回の「インフレ率は目標の 2%に接近している」との文言が削除された。声明文は、FRB は、労働市場の軟化が一服した一方で、インフレ率は高止まりしているとの認識を持っていることを窺わせる内容となっており、ややタカ派な印象を受けた。

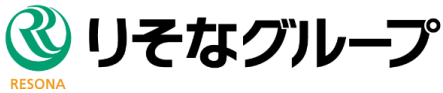
FOMC 後のパウエル議長の記者会見について、重要と思われる発言をピックアップする。

- **財政、規制、関税、移民政策がどのように展開していくかは不明**
トランプ新政権の誕生により、不確実性が高まっていることを認めたが、一方で、我々は様々な分析を行っているが、予測だけで行動を起こすことはないとも述べた。従前から発言している様に、実際に政策が発動されてから政策修正を行う姿勢であることが改めて確認された。
- **我々はこれまで通り目標達成のために手段を選ばず、職務に専念していく**
中央銀行が独立性をもって運営することが最も効果的な政策運営に繋がるとの認識を示した。ただし、トランプ大統領は、パウエル議長の記者会見後に、FRB の政策運営を批判するコメントを SNS に投稿した。2019 年に行った利下げについて、一部ではトランプ大統領の批判に屈したとの指摘もある。現時点で示されるパスよりも、利下げペースが早まる可能性もあり、高官発言等に一層注目したい。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



市場が織り込む 2025 年の FF 金利の推移は、図表 1 の様になっている。すなわち、市場は年内の利下げ回数を 2 回程度と織り込んでいる。一時期は、トランプ大統領の関税政策への不透明感等から、1.3 回ほどまで減少していたが、現在は関税はディールに使われるとの認識が広がりつつあることが背景とみられる。

米長期金利についても、過度なインフレ高進懸念の後退と共にここも低下しているが、マーケットのセンチメントを見ると、金利低下予想が優勢となっており、その程度は平均 μ の近辺にあることから、今後は新たな材料がない限り横ばい圏で推移する公算が大きい(図表 2)。2 月中旬に発表されるインフレ関連指標等でインフレの鈍化が確認できれば、もう一段の低下余地があろう。

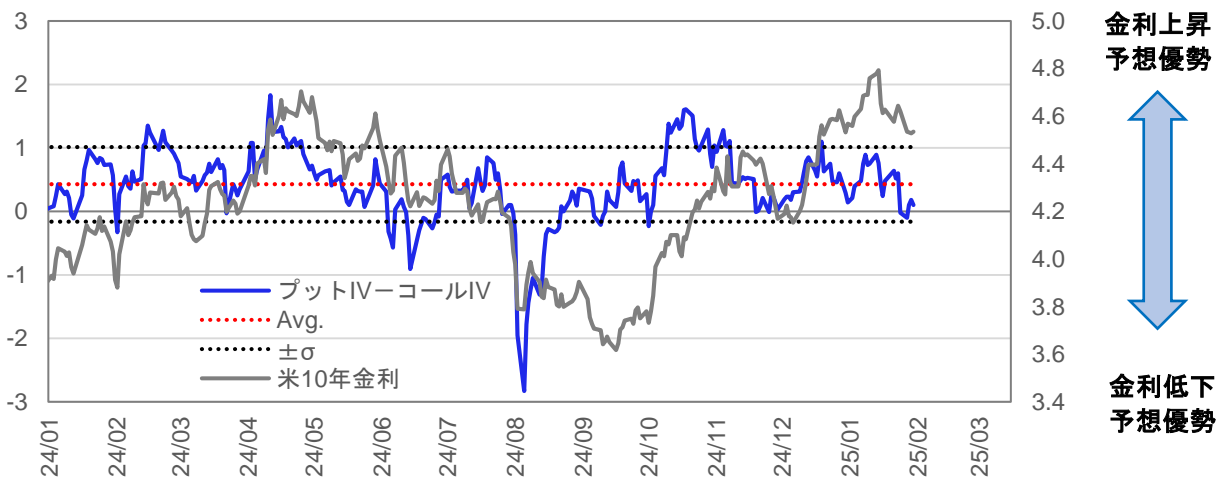
図表 1: FF 金利の織り込み

| Meeting | Implied FFR | 2.75-3 | 3-3.25 | 3.25-3.5 | 3.5-3.75 | 3.75-4 | 4-4.25 | 4.25-4.5 |
|------------|-------------|--------|--------|----------|----------|--------|--------|----------|
| 2025-01-29 | 4.33 % | | | | | | 2.1 % | 97.9 % |
| 2025-03-19 | 4.31 % | | | | | 0.6 % | 30.9 % | 68.5 % |
| 2025-05-07 | 4.22 % | | | | 0.2 % | 9.2 % | 41.6 % | 49.0 % |
| 2025-06-18 | 4.16 % | | | 0.1 % | 4.6 % | 25.0 % | 45.2 % | 25.1 % |
| 2025-07-30 | 4.08 % | | | 1.0 % | 8.8 % | 29.2 % | 41.0 % | 19.9 % |
| 2025-09-17 | 4.00 % | | 0.3 % | 3.4 % | 15.1 % | 32.9 % | 34.5 % | 13.7 % |
| 2025-10-29 | 3.96 % | 0.1 % | 0.9 % | 5.4 % | 18.2 % | 33.1 % | 31.0 % | 11.4 % |
| 2025-12-10 | 3.89 % | 0.2 % | 1.7 % | 7.7 % | 20.8 % | 32.8 % | 27.5 % | 9.4 % |

Source: CME Group

MACROBOND

図表 2 : 米金利とマーケットセンチメント



出所: Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

| No | 発行日 | テーマ | タイトル |
|-----|------------|---------------|--|
| 100 | 2024/10/23 | 欧州経済 | 10月ユーロ概況 |
| 101 | 2024/10/30 | 日本経済 | 9月物価オルタナティブデータ～日経 CPINow |
| 102 | 2024/10/30 | 日本経済 | 9月賃金オルタナティブデータ～HRog 賃金 Now |
| 103 | 2024/11/1 | 欧州経済 | ユーロ圏 GDP 統計 |
| 104 | 2024/11/1 | 日本株 | 日本株需給(10月21日～10月25日) |
| 105 | 2024/11/5 | 日本株 | 日本株 10月セクター動向と11月見通し |
| 106 | 2024/11/5 | 米国経済 | 10月ISM製造業景況感指数 |
| 107 | 2024/11/5 | 米国経済 | 10月雇用統計 |
| 108 | 2024/11/5 | 日本株, 米国株 | 11月日米株バリュエーション～日本: 中立、米国: 強気 |
| 109 | 2024/11/5 | 欧州経済 | 10月ユーロ圏物価動向 |
| 110 | 2024/11/8 | 米国経済 | 11月FOMC |
| 111 | 2024/11/8 | 米国政治, 米国株 | 2024年米大統領選挙結果のマーケットへの影響 |
| 112 | 2024/11/11 | 日本株 | 日本株需給(10月28日～11月1日) |
| 113 | 2024/11/11 | 半導体, 日本株, 米国株 | 半導体市場 Monthly(2024年11月) |
| 114 | 2024/11/14 | 米国経済 | 10月CPI |
| 115 | 2024/11/14 | コモディティ | 10月WTI原油先物価格 |
| 116 | 2024/11/14 | 豪州経済 | 11月豪州概況 |
| 117 | 2024/11/15 | 日本株 | 日本株需給(11月5日～11月8日) |
| 118 | 2024/11/22 | 欧州経済 | 2024年第3四半期ユーロ圏賃金動向 |
| 119 | 2024/11/22 | 米国株, 日本株 | エヌビディアの決算とマーケットへの影響 2025 3Q |
| 120 | 2024/11/22 | 日本株 | 日本株需給(11月11日～11月15日) |
| 121 | 2024/11/29 | 日本経済 | 10月物価オルタナティブデータ～日経 CPINow |
| 122 | 2024/11/29 | 日本経済 | 10月賃金オルタナティブデータ～HRog 賃金 Now |
| 123 | 2024/11/29 | 日本株 | 日本株需給(11月18日～11月22日) |
| 124 | 2024/12/2 | 欧州経済 | 11月ユーロ圏物価動向 |
| 125 | 2024/12/2 | 日本株 | 日本株 11月セクター動向と12月見通し |
| 126 | 2024/12/3 | 米国経済 | 11月ISM製造業景況感指数 |
| 127 | 2024/12/3 | 日本株, 米国株 | 12月日米株バリュエーション～日本: 中立、米国: 中立 |
| 128 | 2024/12/6 | 日本株 | 日本株需給(11月25日～11月29日) |
| 129 | 2024/12/9 | 米国経済 | 11月雇用統計 |
| 130 | 2024/12/11 | 米国経済, 米国株 | 2025年のマーケット見通し～米国編 |
| 131 | 2024/12/13 | 欧州経済 | ECB<欧州中央銀行>理事会 |
| 132 | 2024/12/13 | 日本株 | 日本株需給(12月2日～12月6日) |
| 133 | 2024/12/13 | 半導体, 日本株, 米国株 | 半導体市場 Monthly(2024年12月) |
| 134 | 2024/12/19 | 米国経済 | 12月FOMC |
| 135 | 2024/12/19 | コモディティ | 11月WTI原油先物価格 |
| 136 | 2024/12/20 | 日本株 | 日本株受給(12月9日～12月13日) |
| 137 | 2024/12/20 | 日本経済, 日本株 | 2025年のマーケット見通し～日本編 |
| 138 | 2024/12/20 | 豪州経済 | 12月豪州概況 |
| 139 | 2024/12/27 | 日本株 | 日本株需給(12月16日～12月20日) |
| 140 | 2024/12/27 | 日本株 | 日本株 12月セクター動向と1月見通し |
| 141 | 2025/1/6 | 米国経済 | 12月ISM製造業景況感指数 |
| 142 | 2025/1/10 | 日本株 | 日本株需給(12月23日～12月27日) |
| 143 | 2025/1/14 | 米国経済 | 12月米雇用統計 |
| 144 | 2025/1/15 | 半導体, 日本株, 米国株 | 半導体市場 Monthly(2025年1月) |
| 145 | 2025/1/20 | 日本株 | 日本株需給(1月6日～1月10日) |
| 146 | 2025/1/20 | コモディティ | 12月WTI原油先物価格 |
| 147 | 2025/1/22 | 豪州経済 | 1月豪州概況 |
| 148 | 2025/1/24 | 日本株 | 日本株需給(1月14日～1月17日) |
| 149 | 2025/1/27 | 日本株 | 日本株とESG投資～GPIF採用指数の視点から |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。